

地方共創プログラム 2021 ～地方に学び、自分を知る～ 大分県杵築市・島根県松江市 参加者募集

本学創設者とかかわりの深い大分県杵築(きつき)市と島根県松江市をフィールドに、市から提示された課題に対して、チームを組んでチャレンジするプログラムです。活動期間は2021年4月～10月を予定しています(月1回程度。授業優先。夏休みに現地フィールドワークあり)。

大分県杵築市とは…



「九州の小京都」とも呼ばれる美しい城下町で有名な杵築市。本学の創設者である伊藤修と金丸鉄の出身地でもあります。



伊藤 修



金丸 鉄

担当者からみなさんへ

きつき市の観光の活性化について学生の皆さんからの広い意見を募集します。是非きつき市へお越し下さい。

島根県松江市とは…



国宝「松江城」を擁する、島根県の県庁所在地。城を囲む御堀や情緒溢れる街並みが残ります。初代総長の梅謙次郎の出身地です。



梅 謙次郎

担当者からみなさんへ

松江のこと「知らない」、「わからない」と思います。しかし、私たちはそんな皆さんと一緒にチャレンジしたいです！お待ちしております。

あなたのふるさとにきつきとなる

<ガイダンス>

4/12(月)18～19時30分
(Zoom)

主催：地方共創プロジェクト(総長室付教学企画室・学務部)
共催：大分県杵築市・島根県松江市
後援：法政大学校友会
協力：法政大学社会連携教育センター

プログラム紹介

1. 概要

本プログラムでは、地方自治体から提示された課題・テーマに対して、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案します。学生の皆さんはグループに分かれ、提示された課題・テーマに沿って地方自治体や地元企業等へのオンラインインタビューや事前の文献調査、現地フィールドワークを行い、プランの企画を進めます。

2021年度の対象地域は大分県杵築(きつき)市と島根県松江市です。両市とは、それぞれ連携・協力協定を締結し、様々な取り組みを実施しています。

参加を希望する方は、必ず募集要項を確認の上、申請を行ってください。

2. テーマ

(1) テーマ

大分県杵築市: 特に国内旅行者にターゲットを絞ったアフターコロナの観光振興

島根県松江市: ①学生旅行の聖地化

②自然を活かした体感プロジェクト

③「松江合宿」魅力向上プロジェクト

3. 応募資格・定員

(1) 応募資格

次の要件をすべて満たす者とします。

①法政大学の学部生・大学院生(休学等、長期に就学を中断している者は除く)

②地方創生に強い関心を持ち、地域の方々やメンバーと協力しながら、プログラムに積極的に取り組むことができる者

(2) 募集人数

各地域最大10名程度

4. 募集期間

2021年4月7日(水)～4月23日(金)

5. 募集要項

申込前に、必ず募集要項を確認してください。

6. 申し込みフォーム

申込みは
QRコード
から→



お問い合わせ

法政大学総長室付教学企画室
kyogaku@hosei.ac.jp